

地域から始める

～地域密着型サービス事業所とのつながりから～

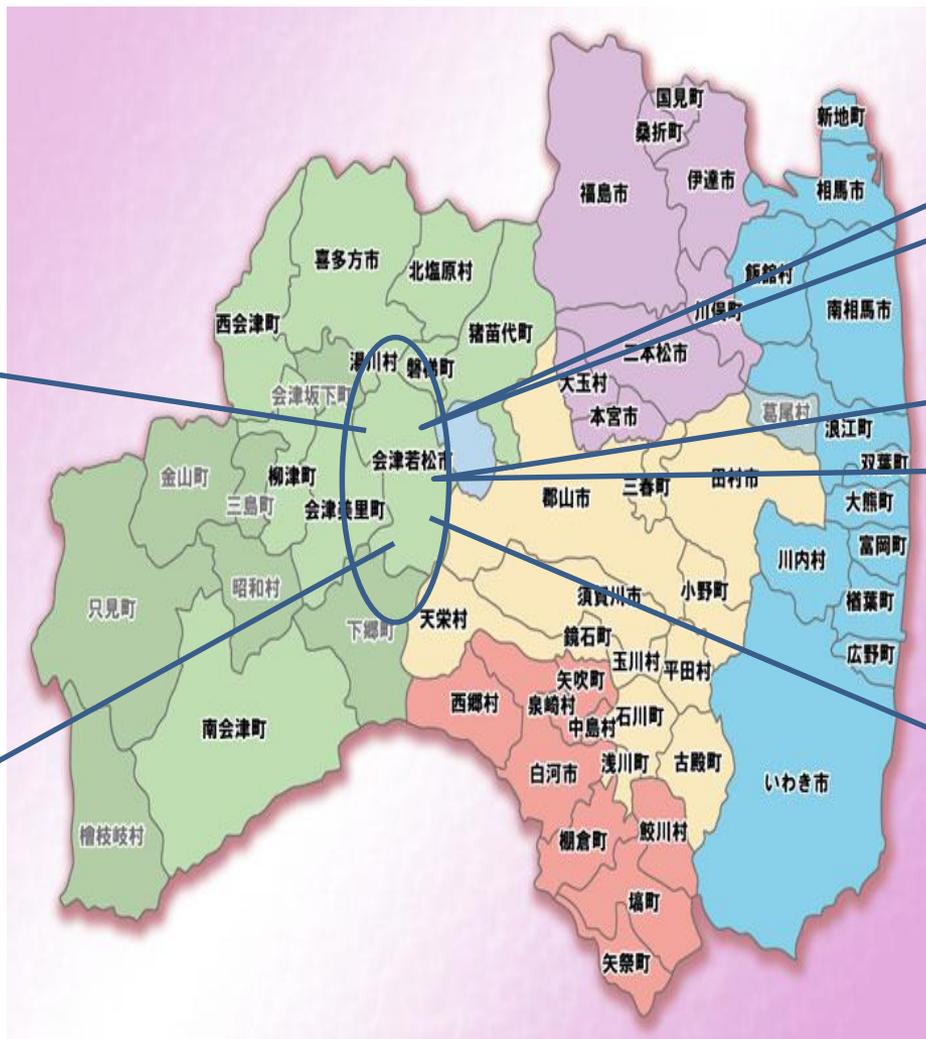


福島県会津若松市高齢福祉課
地域支援グループ
認知症地域支援推進員
國廣多美子

会津若松市を紹介します

会津漆器や
会津清酒に
代表される
伝統的地場
産業がある

鶴ヶ城や白虎
隊士が自刃し
た飯盛山、松
平家別邸の
庭園御薬園
などの観光資
源に恵まれて
いる



面積383
km²

福島県西部に位置
し磐梯山や猪苗代
湖など豊かな自然に
囲まれている会津地
方の中心都市

気候は盆地特有で複
雑、夏は太平洋側に
近く、冬は日本海側
気候を示し、春秋に
はこれに内陸型の気
候条件が加わる



若松つつん



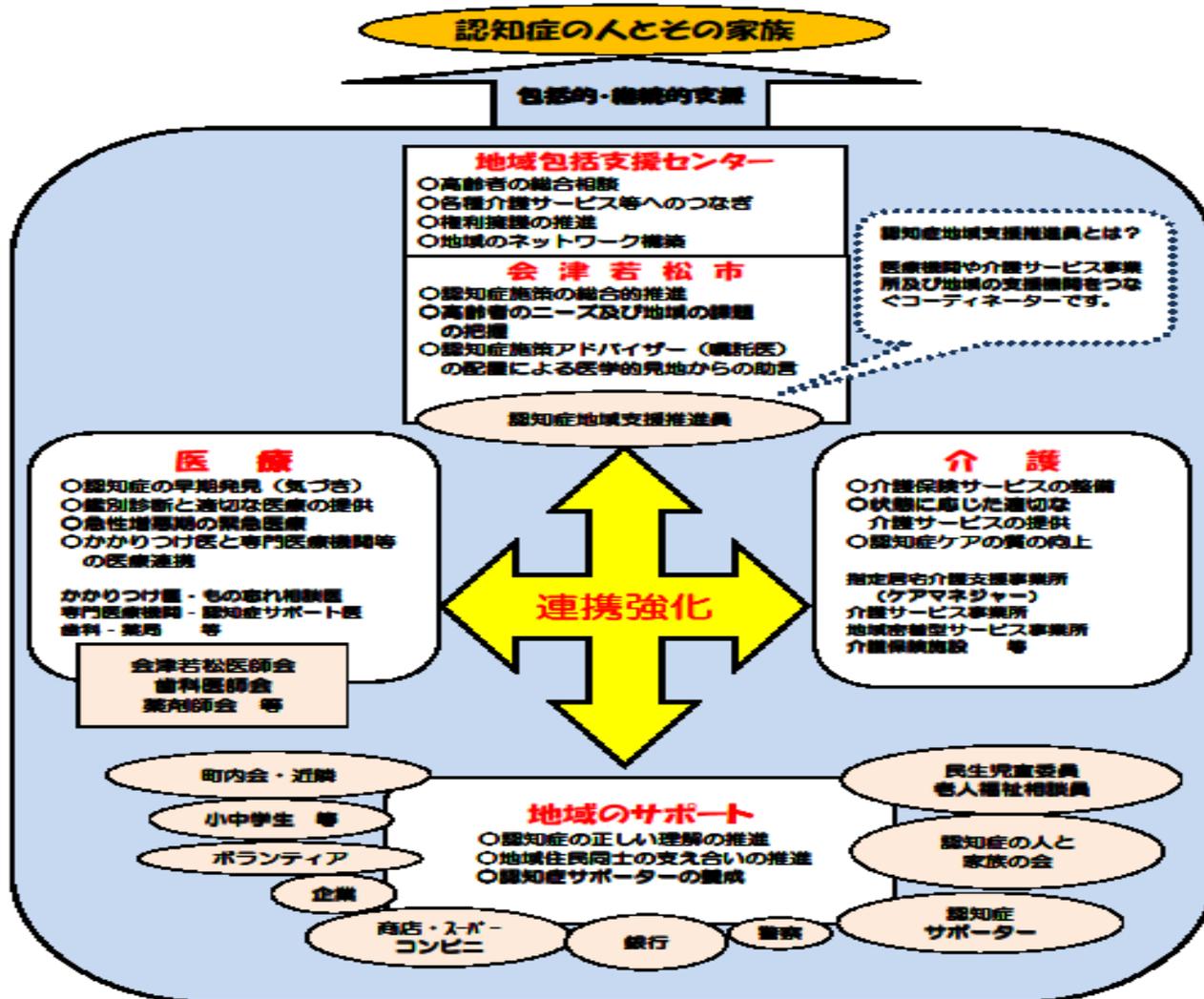
- 全人口 121,802人
- 65歳以上人口 34,426人
- 高齢化率 28,3%
- 75歳以上人口 18,164人
- 要介護等認定率 20,4%
- 第6期介護保険料(月額)
5,850円
- 地域包括支援センター数
7ヶ所
- 日常生活圏域数 7圏域
- 認知症地域支援推進員数 4名
(行政(非常勤)1、包括3)

平成28年4月現在

会津若松市認知症施策総合推進事業

平成25年8月～

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるために、認知症の人や家族等が、いつ、どこに相談しても必要な支援（医療・介護・地域のサポート）につながり、それぞれの機関の連携による適切な支援が切れ目なく継続される仕組みづくりを推進します。



認知症地域支援体制の整備

①認知症地域支援推進員配置 4人

②認知症施策アドバイザー 2人

③認知症施策相談会 4回/年

市担当者、アドバイザー、推進員の会議

④認知症医療介護連携推進連絡会議 3回/年

⑤認知症ケア多職種連携推進研修会 3回/年

⑥認知症地域支援推進員部会 1回/月

第6期介護保険事業計画における 認知症施策の全体像

認知症の人とその家族への支援の充実

1. 認知症についての理解の促進

(1) 認知症の正しい知識の普及啓発の推進

- ① 認知症サポーター養成講座
- ② 認知症サポーターステップアップ講座
- ③ 認知症キャラバン・メイト支援
- ④ 認知症地域支援ガイドの作成・配布

(2) 認知症予防の推進

2. 認知症地域支援体制の充実

- (1) 認知症の早期発見・早期対応の充実
- (2) 関係機関との連携強化
- (3) 認知症の人に対するサービス体制の充実と認知症ケアの質の向上
- (4) 認知症の人と家族の地域交流・社会参加の推進
- (5) 認知症の人を介護する家族への支援
- (6) 認知症ケアパスの作成と周知
- (7) 若年性認知症の人と家族への支援

下線部が推進員が関わっている事業

連携強化の第一歩

推進員の役割

認知症の人や家族等が、いつ、どこに相談しても必要な支援(医療・介護・地域サポート)につながる仕組みづくり



介護との連携

認知症の人やその家族が、適切なサービスが提供されるよう、介護サービス事業所との連携を図る

H25.8月～勤務

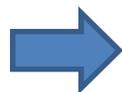
何から始めればいいのか？

個人としての課題は？

- 地域の実態が分からない
- 認知症の人と家族の会はどんな活動をしているのだろうか？
- 地域密着型サービス事業所はどこにあって、どんな役割があるのだろうか？



**現場に行こう！
顔見知りになろう！**



グループホーム 7ヶ所
認知症対応型デイサービス 8ヶ所
小規模多機能型居宅介護 9ヶ所
(複合型含む)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1ヶ所
を行政の担当者と訪問

H26年4月

『認知症地域支援ガイド』の作成



[ガイドブックの活用]

○市民への認知症の正しい知識の普及啓発を図る

○医療機関や介護サービス事業所等の専門職以外の方々も含めた関係者の理解を深める

- ・全戸配布
- ・医療機関等へ配布
- ・窓口での配布
- ・介護サービス事業所へ配布

H26年5月～

認知症地域支援ガイド配布開始

医師会へ

歯科医師会へ

薬剤師会へ

居宅介護支援事業所へ

地域密着型サービス事業所へ

go!

認知症対応型デイサービスのある職員の声

「地域の苦労や大変さを多くの人に伝えたい！」



市民に聞いてもらう場を設定

⇒ フォーラムを開催しよう

「現場の厳しさを行政に分かってもらいたい！」



行政との橋渡し

⇒ 事業所とどうつながるか

市内にある地域密着型事業所は

- グループホーム 7ヶ所
福島県グループホーム協議会会津方部…
定例会不定期
- 認知症対応型デイサービス 8ヶ所
会津認知症ケア連絡協議会…定例会定期的
- 小規模多機能型居宅介護(複合型1含む)9ヶ所
協議会なし
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1ヶ所
協議会なし

勉強会に参加しよう！

「会津認知症ケア連絡協議会」として認知症対応型デイサービス事業所が8ヶ所で持ち回りで2ヶ月に1回開催



事例検討と情報交換

時には飲みニケーション



勉強会の副産物を少し紹介します

事業所の垣根を越えて認知症対応型デイサービスのパンフレットを作成しました(ケアマネジャー向け)

いつでも見学歓迎します！

認知症デイのご案内

本人に合わせた環境を作り
残存機能を引き出していきます。

認知症対応型デイサービスとは

- ◆ 一日の定員が12名と少人数のため、その人のペースに合わせた1対1の対応ができます。
- ◆ 認知症に対する専門知識を学んだスタッフが対応します。
- ◆ 認知症デイでは本人のその時の状況に合わせて集団や個別を使い分けて関わっています。

もう家ではムリ、施設入所しかない、となる前にご相談下さい
私たちにその人らしく生活していくお手伝いをさせて下さい！

このような支援をさせていただいています。



何が食器用洗剤なのか区別がつかないことが分かったので、食器洗いを依頼する時は直接洗剤を手渡ししています。



どんな事ができるのか、どんな支援をするか、どんなに安心して行なえるのか、いろいろな活動を通して見つけていきます



雑巾縫いはひとりでは集中してできる事が分かり、ご家族に伝えたところ家でも実践し、目を離せる時間が出来、家族の負担の軽減に繋がった。

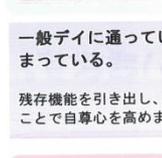
会津認知症ケア連絡協議会

このような時に私たちをお使い下さい。



口数が減り、他者と交流を持とうとせず、元気がなくなったように感じる。

隣に座ってゆっくり話を聞き、本人の興味・関心を引き出していきます。家族から情報を収集させて頂く事もあります。



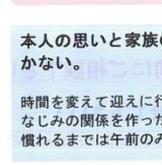
一般デイに通っているが他利用者から浮いてしまっている。

残存機能を引き出し、いきいき活動できるように関わることで自尊心を高めます。



ちょっとしたことで怒りっぽくなり、他者とトラブルになるようになった。

その日の身体状況、睡眠時間、便通、環境などから怒りたくなる原因を探り、関わりに反映します。



本人の思いと家族の思いが異なり、利用に結びつかない。

時間を変えて迎えに行ったり、自宅でゆっくり話をしてなじみの関係を作ったりします。慣れるまでは午前のみなど短時間の利用も可能です。



気軽に相談してください

- ・元気がなくなった。もっとイキイキしてほしい。
- ・同じ話を繰り返したりして、家族が疲弊している。
- ・家族がうまく接する事ができていないようだ。
- ・認知症が進んできたが、このまま一般デイに通っていいのだろうか。

会津認知症ケア連絡協議会とは若松市内の認知症対応型通所介護事業所が集まり情報交換、意見交換を行なっている会です。認知症の方へよりよい支援を提供出来るよう、より一層努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

会津認知症ケア連絡協議会

H26. 9月 認知症フォーラムにあわせて 地域密着型サービス事業所のパネル展示



H28.8.23

25ヶ所の事業所が集まり、楽しみながら展示作業を行った。事業所間の顔合わせや情報交換の場にもない好評だった。フォーラムに訪れた市民は休憩時間に職員から直接説明を聞き、地域密着型の事業所への理解を深めたい、その場で相談する人もいた。市民や事業所から「また、是非やってほしい」の声あり。

研修も協働で！

H26.7月 市が企画

「認知症の方を支える家族へのほっとメッセージ」

認知症介護研究・研修仙台センター
主任研修研究員 矢吹知之 氏



H27.11月 事業所の要望を受けて

「認知症ケアの本質を考える」
～人として生きることを支援する～

(株)大起エンゼルヘルプ
取締役 和田行男 氏



さらに内容の充実に向けて

受講者にもファシリテーターにも好評だった

H28.3月

認知症ケア多職種連携推進研修会

「認知症の人の状態に応じた支援について学ぶ」
～認知症ケアパスを活用した支援方法～

講師は認知症地域支援推進員、
ファシリテーターは
認知症介護指導者



認知症の人と家族を地域で見守り支える～

認知症ケアパス

認知症ケアパス (care pathway) は、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症の進行や状態に合わせて受けられる医療・介護・福祉サービスなどを示したものです。早く気づいて受診することや適切な対応をすることでその人らしい生活が長く維持できます。

いつも「あれがない」「これがない」と探している	趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
同じ食材がたくさんある	せさいふことで怒りっぽくなった

1つでもあてはまる方は、認知機能衰えのサインかもしれません。医師や地域包括支援センターなどに早めに相談しましょう。

会津若松市

平成28年度

第1回 認知症ケア多職種連携推進研修会

日時:平成28年8月23日(火)
午後1時30分～4時30分
会場:会津若松市文化センター
文化ホール・特設展示場

1. 開会
2. あいさつ
3. 内容
(プログラムのとおり)
4. その他
5. 閉会

認知症本人の声 ～介護職に伝えたいこと望むことはなにか～

- 1) 認知症の症状がかなり進んでも、認知症本人を何もわからない人と考えないでほしい。
- 2) 認知症になると、できなくなることも多いが残された機能も多い
- 3) 予定を早めに伝えすぎると忘れてしまったり、不安になったりするので、ゆっくり、適切な時刻に知らせる。
- 4) 本人が使い慣れた言葉で、わかりやすく話してほしい。
- 5) 同じことを聞かれても、面倒くさがらない。
- 6) 古い認知症の先入観を捨てて、認知症本人にも必ず誇りがあり、誇りを傷つけない接しかたをしていただきたい。
- 7) 愛(忍耐)を持って接してもらいたい。

滋賀在住Sさん(57歳)若年性認知症講演原稿より抜粋
(原文のまま)

主催 会津若松市

【プログラム】 会場:文化ホール

時間	内容
13:30～13:35	開会 あいさつ
13:35～14:25	(1)「認知症初期集中支援チームの活動について」 講師 竹田綜合病院認知症疾患医療センター センター長 橋高 一氏
14:25～14:35	(2)「認知症外出見守り事業～QRコード～について」 講師 アイネット株式会社 星 淳一氏 齋藤秀貴氏
14:35～14:50	休憩 (特設展示場をご覧ください)
14:50～16:30	(3)「認知症の人の思いに寄り添ったケアの実際を知る」 発表 会津長寿園デイサービスセンター おばちゃんち 健康倶楽部家 鶴成館(デイサービス) デイサービスセンター城南 認知症専門デイサービスOASIS グループホームみなづる ケアネットグループホームあいづ 健康倶楽部家 鶴成館(グループホーム) 認知症カフェ「ひだまり」 オレンジカフェ「こころの輪」
16:30	閉会

【事業所展示】 会場:特設展示場

- | | |
|-----------------|--|
| 認知症対応型通所介護事業所 | 会津長寿園デイサービスセンター
おばちゃんち
デイサービスセンター城南
認知症専門デイサービスOASIS
認知症専門デイサービスOASIS2号館 |
| 認知症対応型共同生活介護事業所 | グループホーム東山しょうぶ苑
グループホームみなづる
ケアネットグループホームあいづ
ハーモニー松長 |
| 認知症カフェ | 認知症カフェ「ひだまり」
オレンジカフェ「こころの輪」 |
| 認知症外出見守り事業 | アイネット株式会社 |

地域に根付く認知症サポーター養成講座 にするために

キャラバン・メイト連絡会

- ・年に2回開催(5月・1月)
- ・活動可能なメイトの名簿作成(64名)
- ・研修報告
- ・認サポ実践報告
- ・意見交換
- ・認サポの情報提供
- ・メイト通信(検討中)



認サポを協働

包括と
事業所

で実施 H27. 9月

認知症サポーター養成講座を行います

▼とき・ところ... 下表の通り

▼申し込み... 高齢福祉課に電話で

.....
認知症は早期診断が重要です。早期に治療を開始することで、進行を遅らせたり、今後について検討したりすることができます。認知症かなと思ったら、早期に専門医療機関やかかりつけ医に相談しましょう。

◎問い合わせ... 高齢福祉課(☎39・1290)

認知症サポーター養成講座の日程

とき	ところ
9月15日(火)13:00~14:30	会津医療生協健康づくりセンター(東千石一丁目)
9月16日(水)10:00~11:30	謹教コミュニティセンター
9月16日(水)10:00~12:00	桜河苑(河東町郡山)
9月25日(金)13:30~15:00	一箕公民館
9月26日(土)10:00~11:30	会津西病院
9月30日(水)11:00~12:30	大戸公民館
9月30日(水)10:00~11:30	中央公民館神指分館

アルツハイマー一月間中に7包括が公募型の認サポを一斉に実施した。これまでは主に地域の高齢者を対象にしていた包括にとっては、誰がくるのか、何人集まるのか、予測不能の初めての体験となった。そして、ただ待つのではなく、地域の事業所や薬局、病医院へ独自のチラシを持って人集めにも動いた。包括にとって新たな地域のつながりができた。また、地域密着型事業所メイトとのコラボで行った包括が多く、地域の人たちにも事業所が身近なものとなった。後日キャラバン・メイト連絡会で各報告を行い、毎年実施することとなった。

認サポから1歩前進

「認知症の人を地域で支えるには」

西田面ふれあい会

H27. 6. 19

地域包括支援センターとの協働で地域の会を支援



医療との連携

第1 地域包括支援センター

「夜のケアマネ勉強会」

H28.7.8

地域の医療機関、事業所、行政に声かけ。

医師同士の交流にもなりました。



第4 地域包括支援センター

「医療と介護の情報共有会」

認知症地域支援推進員が中心となり、認知症の方の情報交換を行っています。

H28.7.11 鈴木クリニック

H28.10.11 遠山胃腸内科医院

地域密着型サービス事業所とつながいながら 推進員として心がけたこと

認知症対応型デイサービス事業所の連絡会である「会津認知症ケア連絡協議会」の2カ月に1回の集まりには必ず出席し、一緒に勉強し、現場の声を聞き、行政に届けるように心がけた。



H27.11月

認知症ケア多職種連携推進研修会を共同企画し、仲間づくりが始まる



今回の和田さんの講演をきっかけに、認知症について考え、何だかんだと知っている人が集まり「認知症を考える会 会津の種」を発足しました。それぞれの思い「種」を持っているだけでは芽が出ません。どうしたら芽が出るのか一緒に考え、行動に移す、そんな活動が行なえたらと考えています。

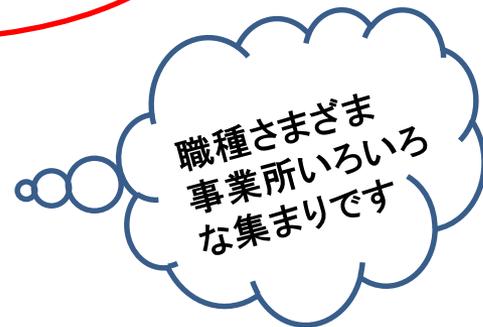
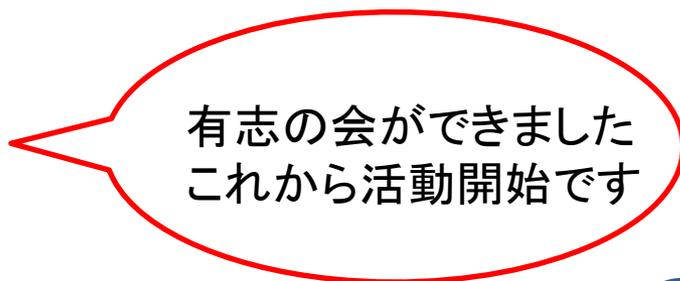
認知症になっても安心してそこに住み続けられる。

認知症になっても普通に当たり前に生活し続けられる。

そんな未来のために、私たちに何が出来るのだろう。

現在のメンバーはそんな思いを持った介護福祉士、作業療法士、看護師、介護支援専門員など様々な職種が集まっています。まずは同じ思いを持った方々どつながりたいと考えました。職種も仕事の有無も年齢も関係ありません。私たちに何が出来るのかは未知ですが、一緒に歩み始めませんか？是非、一度ご連絡下さい。

事務局 認知症専門サービス OASIS 2号館 担当 遠藤祐子
電話 0242-27-5533
FAX 0242-27-5550



成果と課題

【取組の成果】

- 連携の広がり・・始まりは認知デイ事業所の勉強会参加から
多職種連携推進研修会の充実
- 認サポの充実・・認知症キャラバン・メイト連絡会の実効性
- 家族支援の充実・・認カフェ運営支援と開設支援

【今後の課題】

- 医療とのつながり・・特にかかりつけ医との連携
- 若年性認知症の支援・・会津若松版パンフレットの作成や受皿

これから取り組みたいこと

地域密着型サービス事業所、キャラバン・メイトそして
会津の種の仲間と共に

1、認知症カフェを地区ごとに！

（若年性認知症の人の居場所づくり）

2、認知症理解のための啓発と地域づくり

（1人を支える仕組みづくり）

メッセージ

推進員になって忍耐と感動の3年を過ごしました。昨年から3人増えました。月1回会議を開き、なんでも相談しながら、仕事を分け合いながら進めています。一人は大変でも仲間がいると力が出てきます。

ご清聴ありがとうございました
若い力でこれからも頑張ります

第2地域包括
支援センター
松平笑美子

第4地域包括
支援センター
長谷川博一



第1地域包括
支援センター
渡部 恵子

会津若松市
國廣多美子